



堆肥成分等検査報告書

番号 241

令和 元年9月17日

鶴岡市鶴岡市長 皆川 治 様

一般財団法人畜産環境整備機構
畜産環境技術研究所 所長



検査材料受領日 : 令和 元年8月27日
検査材料の名称 : ハイパー有機GT

畜 種 : 肉用牛 豚 乳用牛

検査結果を下記のとおり報告いたします。なおこの検査報告書は、当研究所に送付されてきた検査材料について検査したものであって、当該検査材料以外の品質等について証明するものではありません。

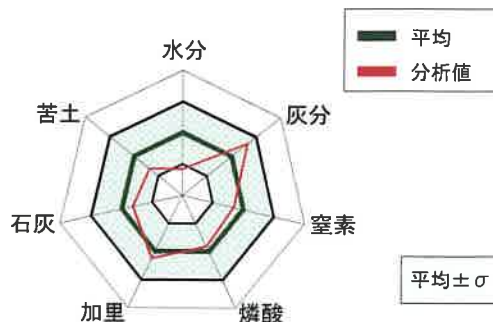
検査項目	検査結果		検査方法
水分	32.6	% (現物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
粗灰分	28.7	% (乾物)	同上
pH	6.9		同上
EC	5.6	mS/cm	同上
窒素全量	2.0	% (乾物)	「乾式燃焼法」による。
リン酸全量	2.3	% (乾物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
加里全量	3.0	% (乾物)	同上
石灰全量	2.0	% (乾物)	同上
苦土全量	0.9	% (乾物)	同上
炭素率(C/N比)	17.5		「乾式燃焼法」による。
銅全量	45	mg/kg (現物)	下記*による。
亜鉛全量	330	mg/kg (現物)	同上
鉄全量	2,000	mg/kg (乾物)	同上
マンガン全量	430	mg/kg (乾物)	同上
発芽率	100	%	下記**による。
酸素消費量	0.6	μg/g/min (現物)	「コンポテスター」を用いた***による。
臭気指数相当値	15	(現物)	「におい識別装置」を用いた***による。
放射性セシウム合計	-		NaI(Tl) シンチレーションスペクトロメータ使用による。

銅、亜鉛のコメント中の基準値は肥料取締法における特殊肥料の品質表示基準(現物)です

コメント:

水分が低い畜ふん混合堆肥です。
 この堆肥に含まれる肥料三要素の全量は、現物1トン当たり、窒素13kg、リン酸16kg、加里20kgです。このうち化学肥料相当分の含量(肥効率)を、窒素15%、リン酸80%、加里90%とすると、化学肥料相当分は、現物1トン当たり窒素2kg、リン酸12kg、加里18kg程度となります。
 銅、亜鉛は基準値以下です。
 酸素消費量(易分解性有機物含量の目安)、発芽率の結果は十分に腐熟が進行したことを示しています。
 臭気の弱い堆肥です。

堆肥成分診断



(混合率の高い肉用牛ふん堆肥と比較しました)

* 財団法人日本土壌協会「堆肥等有機物分析法」(2010年版)に準じた方法
 ** 農林水産技術会議事務局「家畜ふんたい肥の品質評価・利用マニュアル」(2004)
 *** 一般財団法人 畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所方式